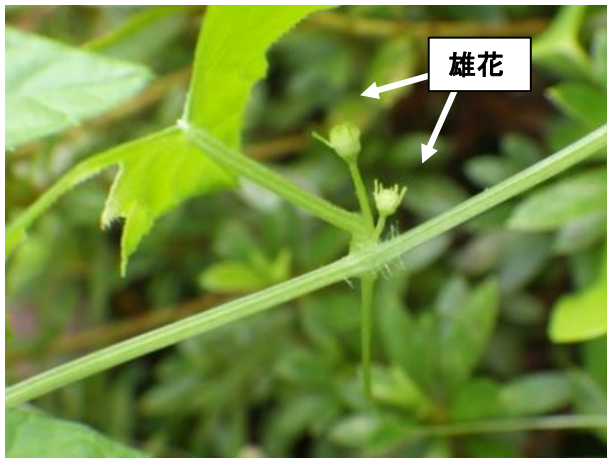
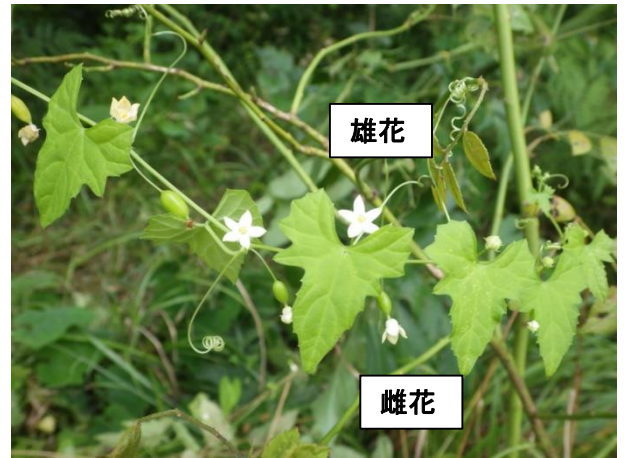


## 植物多様性センターの「スズメウリの雌雄性」

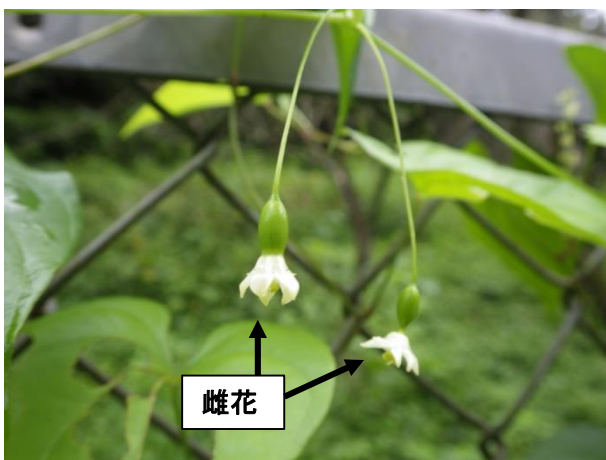
スズメウリはウリ科の1年草で、小さな丸い実を鈴なりににつけるつる植物です。学習園の観察では、はじめのうち雄花しかつけなかった株が、途中から雌花と一緒に咲き出すことがありました。そこで、ほかのスズメウリはどうかと観察してみると、山地の株では、雌花だけで咲いているものもありました。どうやら、スズメウリの雌雄性は一定ではなく、気温などでも変化することがあるようです。



連日の猛暑日につけた学習園の2つの雄花のつぼみ



学習園で、同じ葉腋に、雄花と雌花を1つずつつけた株



山地の涼しい環境で、2つの雌花を咲かせた株



2つの雌花が、それぞれ受粉し若い果実が膨らんだところ